

ひたちなか海浜鉄道

キハ



周年

記念きっぷ



時代を越えて走った2つのキハ111

現在湊線の主力として活躍しているキハ111ですが、100年を超える湊線の歴史のなか、昔も同じ形式名のキハ111が走っておりました。現在の車両とは外見や性能はまったく異なりますが、前身の茨城交通の時代に当時の日本国有鉄道から譲渡されたキハ111(3両)が昭和から平成にかけ湊線で活躍しました。

その後老朽化と代替車導入の為初代キハ111は引退となりましたが、ひたちなか海浜鉄道に代わってから2代目となるキハ111が東海旅客鉄道や東海交通事業から3両譲渡され、現在も活躍中です。前所有会社での形式名が、偶然にも双方同じキハ111でそのまま継承したことから生じた珍しいケースです。

また初代は昭和から平成、2代目は平成から令和と2代とも時代をまたいで湊線で活躍したという共通点もあり、偶然であれとても不思議な巡り合わせともいえるでしょう。

ひたちなか海浜鉄道発足より11周年、平成から令和と新しい時代を迎え、キハ111も湊線とともに未来へ走り続けます。



【キハ111(初代)】キハ111-1・2・3の3両が在籍

昭和31(1956)年 製造

*当初は日本国有鉄道 キハ111として所属

昭和55(1980)年 3両が茨城交通湊線に譲渡

*譲渡にあたり車両番号を変更 (国鉄) (茨城交通)

キハ111-19 → キハ111-1

キハ111-25 → キハ111-2

キハ111-26 → キハ111-3

平成7(1995)年 キハ111-3 廃車

平成9(1997)年 キハ111-1 廃車

*現在はパニア・鉄道館(愛知県)にて保存展示

平成18(2004)年 キハ111-2 廃車

*現在は鉄道博物館(埼玉県)にて保存展示

*この廃車によりキハ111(初代)はすべて引退

【キハ111(2代目)】キハ111-5・6・7の3両が在籍

平成11(1998)年 キハ111-5 製造

*当初は東海旅客鉄道(JR東海)キハ111-123として所属

平成5(1994)年 キハ111-6・キハ111-7 製造

*当初は東海交通事業 キハ111-203と204として所属

2両とも東海旅客鉄道(JR東海)に貸出の上、JR車両と共通で使用

平成27(2015)年 3月ダイヤ改正にて東海旅客鉄道線

での営業運転を終了

平成27(2015)年 ひたちなか海浜鉄道に譲渡

*入籍後車両番号を現番号に変更

平成27(2015)年 湊線での営業運転を開始(12月)



19-4-1 (ひたちなか海浜鉄道) 金上から阿字ヶ浦ゆき 2019年12月1日より有効 255円(1車)先行

19-4-1 (ひたちなか海浜鉄道) 普通入場券 那珂湊駅 料金 150円 2019年12月1日より有効 客車内には乗れません

19-4-1 (ひたちなか海浜鉄道) (ひたちなか海浜鉄道) 勝田から那珂湊ゆき 2018年12月1日より有効 1車 700円(1車)先行 小那珂湊・勝田

(ひたちなか海浜鉄道)キハ111